



え：よしだみずほ

2014年1月7日

《発行》中津市ボランティア・市民活動センター（中津市教育福祉センター内）
〒871-0021 中津市沖代町1-1-11 TEL 23-2095 FAX 24-7682
《ホームページ》<http://www.nakatsu-s.or.jp/> E-MAIL volunteer@nakatsu-s.or.jp

永年のボランティア活動をたたえて ボランティア功労者・功労団体が表彰受賞されました



10月23日に別府市「ビーコンプラザ」コンベンションホールにて第8回 大分県地域福祉推進大会が開催されました。参加人数は2,500人でした。中津市のボランティア活動団体も表彰されましたので、ご紹介致します。

大分県知事表彰

- ◇ なでしこ
- ◇ いちごの会
- ◇ 音あそびの会



大分県社会福祉協議会会長表彰

- ◇ 耶馬溪町アカデミアの会
- ◇ 童心アカデミアの会おもちゃ図書館
- ◇ ゆめクラブ・大幡
- ◇ 読み聞かせグループゆめくらぶ



大分県知事感謝状

- ◇ あけぼの会

大分県社会福祉協議会会長感謝状

- | | |
|----------|---------------|
| ◇ 杏ファミリー | ◇ 耶馬溪歴史観光案内人 |
| ◇ フレンドリー | ◇ 奥耶馬紅ひよっこ衆 |
| ◇ 七五三会 | ◇ 金色川をきれいにする会 |
| ◇ 中摩上婦人会 | ◇ ひがしはま |
| ◇ ねぎの会 | ◇ 雪中花 |
| ◇ ふじの会 | ◇ みすみ会 |



グループ活動紹介 ～中津ろう者劇団「ひまわり」～ 中津市鶴居小学校PTA研修部からの講演の依頼で好演！！



11月8日、鶴居小学校PTA研修部の人権講演会で、中津ろう者劇団「ひまわり」による公演がありました。今回の公演は、中津市社会福祉協議会が市内の小学校を対象に行っている福祉教育「わいわい福祉ひろば」の聴覚障がいコースで、



PTAの皆さんが「手話は耳の聞こえない人の大切な言語」であることを知り、あいさつの手話を知ること、聴覚障がいのことを身近に感じられたことがきっかけでした。

当日は、俳優13名、声優10名による、手話劇「爆笑！桃太郎」や劇団団長によるパントマイム、手話コーラスという楽しい内容が続き、会場に集まった大人や子ども135名の皆さんは、おなかを抱えて笑ったり、手話を一緒に学んでいました。

中津ろう者劇団「ひまわり」は1995年に発足したボランティアグループです。「障がいにより家に閉じこもりがちになってしまうろう者が社会とつながる方法はないか？」とろう者自身が考え、身体を使って表現する「手話劇」を思いついたことが最初でした。障がいにより、通訳などボランティアの人に助けられることが多い中で、感謝の気持ちを伝えることと、自分たちも社会に対してできることとして、手話劇を演じ、それを観て、楽しんでもらおうという気持ちが活動の基になっています。脚本はもちろん、舞台道具や衣装も手作りで、協力し合って活動しています。劇団員はろう者とボランティアで構成されており、毎週金曜日夜、「明るく、楽しく」をモットーに練習に励んでいます。

公演を通じて、多くの人とふれ合え、自分たちの活動の励みになることから、ぜひ、公演の依頼を寄せてくださいとおっしゃっていました。



講演のようす

～会の皆さんよりメッセージ～

私達の劇団名、「ひまわり」の由来は、伸び伸びと明るく生きていこうと考えて名づけました。夏の猛暑に耐えて太陽に向かって咲く、明るく元気な「ひまわり」のようにと・・・。

まだまだ手話劇のレパートリーもたくさんありますので、公演の依頼をお待ちしています。皆さんに笑いと幸せをお届けしたいと思います。

中津市ボランティア・市民活動の現状

新しい年が始まりました。2014年1月現在のボランティア・市民活動の状況をご紹介します。

今年もまた、さまざまなボランティア活動が地域の繋がりと人々との輪が広がり、また、絆が深まって行くように、応援していきたいと思ひます。今年もどうぞよろしくお願いしします。

2014年1月4日現在登録状況

(団体)

◆新規登録団体	11団体
◆ボランティア団体	110団体
◆給食ボランティア団体	42団体
◆活動者数のべ	3405人

(個人)

◆ボランティア登録個人	1060人
-------------	-------

(寄り合いの場)

◆地域サロン	4団体
◆ミニデイサービス	7団体
◆いきいきサロン	54団体

なかつ子ども劇場 2月鑑賞会 劇団風の子(東京)による 風の子バザール



日時：2月28日(金)
19時開演

会場：中津市教育福祉センター

問合せ：なかつ子ども劇場

TEL&FAX

(事務所) 24 - 1455

(久恒) 090-6776-687

※心豊かになってもらえるように鑑賞会を開催しています。

ぜひ、みなさんでおいでください！

～一品提供グループ～

「ねぎの会」



給食ボランティアおすすめの一品

『きのこの炊き込みごはん』



会員数》18名

活動日》第4水曜日 夕食配食

活動場所》鶴居コミュニティセンター

調理室

地区場所》湯屋地区

コスチューム》グリーンのエプロンと帽子



材料 (4人分)

- ・米 2合
- ・ちりめんじゃこ 大さじ2
- ・生しいたけ 1枚
- ・えのき, まいたけ, しめじ 各1/2袋
- ・にんじん 1/4本
- ・三つ葉, ぎんなん 各適宜
- ・薄口醤油 大さじ1
- ・塩 小さじ1/4

手順①きのこ類は石づきを取り食べやすい大きさに切る

手順②にんじんは約2cmの千切りにし、三つ葉、ぎんなんは茹でておく

手順③炊飯器に全ての材料と調味料を入れ、水加減をして炊く

手順④炊けたら、茶碗に盛り三つ葉とぎんなんをちらす

☆会のみなさんから一言☆

- ・地産地消の材料をみんなで持ち寄り、集まることが楽しみの一つです。
- ・給食ボランティア活動をすることで、料理のレパートリーが増えました。
- ・お弁当と一緒に手紙を添えてお渡しすると、受給者の方がとても喜んでくれます！！



みんなの“ふくしまつり”に参加していただきありがとうございました。

たくさんの方の笑顔に出逢いました

11/17(日)、中津市教育福祉センターにて「第5回みんなの“ふくしまつり”」が開催されました。

当日は小雨もばらつき寒さも感じられましたが、たくさんの方々にご参加いただきました。室内外たくさんの催し物が行われ、それぞれのコーナーでたくさんの笑い声や元気な声を聞くことが出来ました。子どもから高齢者までが楽しめ、世代や障がいを超えた市民の方々の交流ができたのではないかと思います。

“ふくしまつり”は毎年、実行委員会形式によりボランティア団体、福祉施設の団体の方々に携わって頂いています。また、当日はさらに多くのボランティア、福祉施設、企業の方々にもご協力いただき、実行委員と共に“ふくしまつり”を盛り上げて下さいました。参加者みなさんのステキな笑顔に囲まれ、みんなの“ふくしまつり”を無事に終えることができましたことを、心よりお礼申し上げます。



中津市ボランティア連絡協議会主催！ 『被災者も支援者も一緒に作る非常食』の研修会開催

中津市ボランティア連絡協議会は、今年度の取り組みとして、東日本大震災や昨年の九州北部豪雨災害など近年頻繁に起こる自然災害時に備える研修会を開催しています。昨年度は避難所の設営研修会を開催し、今年度は、中津市小楠コミュニティセンターで被災者が避難先で非常食をつくる研修会を開催しました。いつ何が起こるかわからない災害に対し、平素から訓練をする事で「意志・判断・行動」を迅速に、また円滑に出来るようになるのではないかと感じました。講師は、NPO法人レスキュー・サポート九州の方々です。当日は、約50名の参加者が小楠コミュニティセンターに避難して来たという設定で、家庭の冷蔵庫の中の食品や備蓄品で食事を作りました。

内容は、①白ご飯・・・特殊なビニール袋に米と水を入れ空気を抜き輪ゴムで口を縛り、お湯でゆでる。②焼きそば・・・特殊なビニール袋に袋焼きそば1袋を2/1に折りもやし、キャベツ、焼きそばのたれを入れて空気を抜いて輪ゴムで縛り、お湯でゆでる。③ポテトサラダ・・・ジャガリコ(お菓子)にお湯を注ぎ、きゅうり、マヨネーズを入れる。

出来上がった後、参加者は試食をし、非常食体験をすることが出来ました。今回の研修を通して、日頃から防災袋や長期保存が可能な食品を揃えておく必要があることを実感しました。ボランティア連絡協議会の役員の方々は、災害が起き、いかに早く従来の生活を取り戻すかという点では、平常時からの関係づくりやネットワークづくりを構築する必要があることや、今後も災害時に対応出来る研修会をしていきたいと話して下さいました。参加者は、「楽しい研修会でした。もしもの時は、私達がリーダー的な立場として今日のことを活かしていけたらいいですね。」と話して下さいました。



「参加者のみなさん」



「講師のみなさん」



「研修のようす」

